

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 22 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26245002

研究課題名(和文) 帝国と植民地法制に関する比較法制史的研究

研究課題名(英文) A Study on Empire and Legislative System of Colonies from the View of Comparative Legal History

研究代表者

浅古 弘 (ASAKO, Hiroshi)

早稲田大学・法学大学院(法務研究科)・教授

研究者番号：90247198

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 31,120,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、現存する日本の植民地統治関係の法制資料を学界共有の財産として広く研究者の利用に供するとともに、帝国日本の形成と植民地統治を比較法制史的視点から実証的に研究しようとの試みである。

台湾・法務部・司法官学院保管の日治期台中地方法院刑事判決原本目録(327冊43,888件)を作成し、「日治法院档案資料庫」から公開するため目録データを国立台湾大学・司法官学院へ提供した。日治期花蓮地方法院刑事判決原本(8冊2,067件)の仮目録を作成した。韓国・最高法院記録保存所で日本統治期の民事判決原本調査蒐集を行った。この間に、「帝国と植民地法制」研究会を9回開催し、国際シンポジウムで招待講演を行った。

研究成果の概要(英文)：This project is an attempt to provide researchers with fundamental documents on colonial laws during Japanese ruling, and to study on Empire and legislative system of colonies from the view of comparative legal history.

We listed and provided the digital catalogue of the criminal case records of the Taichu District Court during Japanese ruling (43,888 cases of 327 volumes) preserved by the Taiwan Academy for Judiciary, Ministry of Justice to the Academy and National Taiwan University to open to public. We also listed the tentative catalogue of the criminal records of the Hualian District Court during Japanese ruling (2,067 cases of 8 books). And we researched and collected case records during Japanese ruling at the Office of Records at the Supreme Court of Korea. 9 seminars of "Empire and Legislative System of Colonies" was held during this project period. We were invited at international symposiums as a guest speaker.

研究分野：日本法制史

キーワード：植民地 台湾 朝鮮 法制史 総督府法院 東アジア 岡松参太郎 判決原本

1. 研究開始当初の背景

(1) 早稲田大学図書館に寄贈された「岡松家旧蔵図書・文書資料」、「千種達夫旧蔵文書資料」及び「宮内季子旧蔵文書資料」並びに台湾に現存する日本統治時代の裁判記録を、東アジア近代法制資料として研究に供するために、適切な方法を確立し、学界共有の財産として公開利用できるように整理し、目録を作成し公開してきた。

(2) この作業を通して、東アジア諸国のなかで一步先んじて西欧法を受容し近代化を行なった日本法が、東アジアの国・地域の法に、植民地支配あるいは留学生や近代法典の編纂事業に対する法整備支援を通じて、大きな影響を与えたばかりでなく、東アジアの各地域の法が互いに影響しあっていたこともわかってきた。

(3) こうした東アジア諸国の相互の関係を意識しながら、帝国による植民地支配が東アジアにおける近代法形成に与えた影響を検証しようという研究は、ようやく緒に就いたところである。

(4) 日本統治時代の台湾・朝鮮の裁判記録による研究は個別事案を対象とする研究がほとんどであり、現存する裁判記録を全て整理し、学界に供しようとする基礎的作業を、台湾については、台湾大学王泰升教授のプロジェクトと協働して、進めているところである。韓国については、日本統治時代の裁判記録が保存されていることは知られているが、それを利用した研究は限られている。

2. 研究の目的

本研究は、帝国と植民地統治という視点から、『岡松参太郎文書』等の歴史資料に基づき、東アジア諸国の近代法の形成に及ぼした相互の影響を実証的に明らかにし、そこにおける日本法の影響とその意義を明らかにするために、台湾及び韓国に現在する日本統治時代の判決原本などの裁判記録を、研究資料として利用できるよう、目録を作成し、これを公開することによって、植民地法制及び法実務に関する研究の基礎を整えようとの試みである。

3. 研究の方法

(1) 本研究の目標を達成するために、「法制資料研究班」と「裁判記録研究班」の二つの研究グループを組織し、「法制資料研究班」は、「岡松参太郎文書」の翻刻を行い、「岡松参太郎文書」・「千種達夫文書」・「宮内季子文書」の歴史資料を分析して、植民地法制の比較研究を行う。「裁判記録研究班」は、台湾と韓国に現在する日本統治時代の裁判記録を蒐集し目録を作成して学界に紹介するとともに、裁判例の分析を通して植民地統治と法の適用の問題を解明する。

(2) これまでの「科研の成果」と各研究グループの基礎的な作業をもとに、海外の研究者の参加を得て、研究会を定期的に開催し、

帝国日本の形成と植民地統治を実証的に研究する。

4. 研究成果

(1) 台湾・法務部・司法官学院保管の日本統治期台中地方法院刑事判決原本(327冊43,888件)の目録を作成し、原本管理のため司法官学院に目録データを提供するとともに、「日治法院档案資料庫」から公開するために目録データを国立台湾大学図書館に提供した。

(2) 日本統治期花蓮地方法院刑事判決原本(8冊2,067件)の仮目録を作成した。

(3) 韓国・最高法院記録保存所で大韓帝国期から戦後の米軍施政権期までの民事判決原本調査蒐集を行った。

(4) 「帝国と植民地法制」研究会を開催した。

・第7回(2014年6月21日 早稲田大学)

[研究報告]

岡松暁子「ハーバード大学における東アジア法研究の最近の動向」

新田一郎「京城天真樓遺聞」

・第8回(2014年12月6日 早稲田大学)

[研究報告]

浅古弘「日本統治下の独立運動と治安維持法の適用：台湾と朝鮮の比較を中心に」

陳韻如(CHEN, Yun-Ru)「植民地時代の東アジアにおける家族法のパラドクス：結節点としての台湾」

・第9回(2015年7月4日 早稲田大学)

[研究報告]

Jason Morgan「慰安婦問題 - 米国歴史学界の動向」

中網栄美子「明治期・紛争処理者としての在日英国領事の役割 - ジェントルマン“ではない”人たちの日常的攻防」

・第10回(2015年12月12日 早稲田大学)

[研究報告]

太田茂「秘められた日中和平工作史？あるゼロ戦特攻隊員の証言」

小澤隆司「大正期の法人処罰 - 刑事訴訟法の改正を中心として - 」

・第11回(2016年4月23日 早稲田大学)

[研究報告]

Colin Jones「現代法学のタイプ：満洲国民法編纂と我妻法学」

・第12回(2016年11月19日 早稲田大学)

[研究報告]

Darryl Flaherty「Public Law, Private Practice: Politics, Profit, and the Legal Profession in Nineteenth-Century Japan」

・第13回(2016年12月17日 早稲田大学)

[研究報告]

太田茂「『三笠宮』上海護衛飛行～あるゼロ戦特攻隊員の証言(補遺)」

浅古弘「〔研究ノート〕朝鮮総督府法院裁判の終焉時期について」

山中至「台湾覆審・高等法院判例にみる条理について」

・第14回(2017年7月8日 早稲田大学)

[研究報告]

林政佑(Lin Cheng-Yu)「植民地台湾と朝鮮の監獄教誨に関する法制及び実践」

山口亮介「控訴裁判所設置案をめぐる明治7年前半期司法省の動向とブスケの法制意見」

・第15回(2017年10月14日 早稲田大学)

[研究報告]

岡本真希子「植民地統治初期の臺灣総督府法院の人事 - 臺灣総督府公文類纂を中心に - 」

浅古弘「慣習と法：台湾舊慣調査と日本法との交錯」

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計18件)

山中至、台湾覆審・高等法院判例にみる条理について、プロジェクト研究、査読有、13、2018、23-38

山口亮介、明治七年前半期における御雇外国人ブスケの控訴裁判所設置案関連資料、北九州市立大学法政論集、査読有、44-3・4、2017、448-417

山口亮介、明治初期の司法制度形成過程：裁判・法概念形成の関わりから、九州歴史科学、査読無、45、2017、148-158

西英昭、岡田朝太郎の欧州留学について、法政研究、査読有、84-1、2017、238-217

藤野裕子、関東大震災時の「デマ」を考える：朝鮮人虐殺の現場から、史観、査読有、166、2017、167-169

井上正仁、刑事司法改革は何をかえるか(1)、LAW&PRACTICE、査読無、10、2016、1-59

西英昭、北洋政府期法典編纂機関の変遷について：法典編纂会・法律編査会・修訂法律館、法政研究、査読有、83-3、2016、453-483

藤野奈津子、国制史からみたコリア事件：「アウクトーリタース(auctoritas)」再考、国府台経済研究、査読有、26-1、2016、29-61

和仁かや、金田平一郎と九州帝国大学、法政研究、査読有、83-3、2016、485-504

NISHI, Hideaki, A New Look at the Taiwan Shihō: Re-examination of the Thought-Processes in the Making of a Report in Colonial Taiwan, Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko、査読有、73、2016、141-169

小澤隆司、法人役員処罰法(大正四年法律第一八号)に関する一考察 - 山岡萬之助関係文書を手がかりとして、札幌学院法学、査読有、31-2、2015、345-370

浦川道太郎、祭祀財産承継にまつわる法律問題、月報司法書士、査読無、520、2015、

15-22

近藤佳代子、夫婦の氏に関する覚書(1・2)法史学的考察、宮城教育大学紀要、査読有、49、2014、368-354、50、2015、328-317

藤野奈津子ほか(6人共訳)[翻訳]パウルス『意見書』()、早稲田法学、査読有、89-4、2015、235-269

西英昭、オランダにおける「中国」法学の展開過程の一断面：M. H. van der Valkの業績を中心に、法政研究、査読有、81-4、2015、1080-1031

藤野裕子、1919年立憲政友会本部放火事件：ある工場人足の政治的軌跡(上)、史論、査読有、67、2014、1-19

山口亮介、明治太政官制復古と刑法事務課・事務局、刑法官、刑部省の形成、北九州市立大学法政論集、査読有、42-2・4、2014、392-336

山口亮介、一九世紀日本におけるオランダ法情報を通じた西欧法認識の一断面：『和蘭字彙』及び『和蘭政典』第五編を中心として、法政研究、査読有、81-3、2014、481-513

[学会発表](計5件)

浅古弘、日治時期台中地方法院刑事判決原本之解読及課題、国立台湾大学図書館・国立台湾大学法律学院・台湾法律史学会、2018.3.10

浅古弘、慣習と法：台湾旧慣調査と日本法の交錯、中央研究院法律研究所(法律與歴史的交匯：「台湾法律史二十年」国際シンポジウム)、2017.12.1

岡松暁子、岡松参太郎について、中央研究院法律研究所(法律與歴史的交匯：「台湾法律史二十年」国際シンポジウム)、2017.12.1

新田一郎、京城天真楼遺聞 Version2.01 - 京城日本人社会史一隅、法制史学会東京部会、2016.11.26

陳韻如、作為世界成員の台湾：1920年代抵殖民法律人的民族叙事、叙事與正義研討会、2015.9.5

[図書](計2件)

藤野裕子、都市と暴動の民衆史 - 東京・1905-1923年、有志舎、2015、313

井上正仁、日本立法資料全集(132)、信山社出版、2015、500

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

<http://www.waseda-eals.com>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

浅古 弘 (ASAKO, Hiroshi)
早稲田大学・法学学術院(法務研究科)・
教授
研究者番号：90247198

(2) 研究分担者

山中 至 (YAMANAKA, Itaru)
熊本大学・大学院法曹養成研究科・名誉
教授
研究者番号：90167718

新田 一郎 (NITTA, Ichiro)
東京大学・大学院法学政治学研究科(法
学部)・教授
研究者番号：40208252

加藤 哲夫 (KATO, Tetsuo)
早稲田大学・法学学術院・教授
研究者番号：90063809

西 英昭 (NISHI, Hideaki)
九州大学・法学研究院・准教授
研究者番号：50323621

藤野 裕子 (FUJINO, Yuko)
東京女子大学・現代教養学部・准教授
研究者番号：70386746

井上 正仁 (INOUE, Masahito)
早稲田大学・法学学術院(法務研究科)・
教授(任期付)
研究者番号：30009831

菅原 郁夫 (SUGAWARA, Ikuo)
早稲田大学・法学学術院(法務研究科)・
教授
研究者番号：90162859

浦川 道太郎 (URAKAWA, Michitaro)
早稲田大学・法学学術院・名誉教授
研究者番号：90063792

小澤 隆司 (OZAWA, Takashi)

札幌学院大学・法学部・教授
研究者番号：10347734

近藤 佳代子 (KONDO, Kayoko)
宮城教育大学・教員キャリア研究機構・
協力研究員
研究者番号：40153712

石田 京子 (ISHIDA, Kyoko)
早稲田大学・法学学術院(法務研究科)・
准教授
研究者番号：10453987

太田 茂 (OTA, Shigeru)
日本大学・危機管理学部・教授
研究者番号：00632415

(3) 連携研究者

岡松 暁子 (OKAMATSU, Akiko)
法政大学・国際環境学部・教授
研究者番号：40391081

五島 京子 (GOTO, Kyoko)
国土館大学・法学部・教授
研究者番号：20279095

田山 聡美 (TAYAMA, Satomi)
早稲田大学・法学学術院(法学部)・教
授
研究者番号：40407896

中網 栄美子 (NAKAAMI, Emiko)
秀明大学・学校教師学部・講師
研究者番号：10409724

藤野 奈津子 (FUJINO, Natsuko)
千葉商科大学・商経学部・准教授
研究者番号：90318717

山口 亮介 (YAMAGUCHI, Ryosuke)
北九州市立大学・法学部・准教授
研究者番号：80608919

和仁 かや (WANI, Kaya)
九州大学・法学研究院・准教授
研究者番号：90511808

陳 韻如 (CHEN, Yun-Ru)
早稲田大学・高等研究所・助教(参加時)
研究者番号：10756365
(平成27年度・平成28年度)

(4) 研究協力者

若林 正文 (WAKABAYASHI, Masahiro)
早稲田大学・政治経済学術院・教授
研究者番号：60114716

江 正殷 (CHIANG, Cheng-Yin)
早稲田大学・国際課・専任職員(管理職)
研究者番号：10308249

江 秀華 (CHIANG Hsiu-Hua)
早稲田大学・教育学院・講師
研究者番号：30546122